

とちぎ海浜自然の家

令和 5 年度

利用のご案内



目 次

利用の手引

I 施設の概要	2
II 利用案内	
1 臨海自然教室の利用	7
2 各種団体、家族等の利用	8
3 入所時の手続き	9
4 退所時の手続き	10
5 利用人数等の変更	10・125
6 食材・活動物品の準備	10
7 会計について	11
III 生活について	12
IV 宿泊中の傷病について	19
V 施設内での飲食・飲酒について	21
VI 活動プログラム打合せ資料	22
VII 非常時の避難について	23

活動について

I プログラム作成にあたって	
1 臨海自然教室利用計画書の記入の仕方	28
2 社会教育団体等の利用計画書の記入の仕方	29
〔施設利用参考資料〕	30
II プログラム作成にあたっての単位活動展開例	
1 海（主として海とのかかわりの深い活動）	33
砂浜活動・砂の造形・塩づくり・砂浜の生物観察 等	
2 動（主として体を動かす活動）	51
海浜オリエンテーリング・海浜ウォークラリー・BCモトクロス・サイクリング・いかだカヌー遊び 等	
3 食（主として調理をする活動）	85
野外調理・焼きいも・海産物調理 等	
4 創（主として創作をする活動）	101
かくれ家づくり・創作活動 等	
5 その他	113
プール活動・火おこし体験・漁り火の集い・マリンキャンドルの集い・星の観察 等	

参 考 資 料

1 経費参考資料	124
2 食材・活動物品価格一覧	126
3 施設用具一覧	130
4 活動に適した服装	132
5 主な周辺見学施設案内図	133
・ 要注意「離岸流」	134
・ 津波に注意	135
・ とちぎ海浜自然の家気象資料	136
・ 令和5年度 日の出・日の入り時刻	136

利用の手引

目 次

I 施設の概要	
1 設置の趣旨（目的）	2
2 主 な 施 設	2
3 利用にあたって	3
4 施 設 全 景	3
5 施 設 配 置 図	3
II 利用案内	
1 臨海自然教室の利用	
(1) 臨海自然教室の概要	7
(2) 実 施 時 期	7
(3) 実施までの流れ	7
2 各種団体、家族等の利用	
利用申込みの方法	8
3 入所時の手続き	9
4 退所時の手続き	10
5 利用人数等の変更	10
6 食材・活動物品の準備	10
7 会 計 に つ い て	11
III 生活について	
1 生活上のお願い	12
2 食堂の利用について	13
3 入 浴 に つ い て	16
4 ベッドメイキングについて	16
5 清 掃 に つ い て	18
6 ゴミの処理について	18
7 そ の 他	18
IV 宿泊中の傷病について	
1 保健室の利用について	19
2 病院での受診について	19
3 食物アレルギーの対応について	19
【参考資料】施設周辺の主な医療機関	19
4 嘔吐物の処理について	20
5 そ の 他	20
V 施設内での飲食・飲酒について	21
VI 活動プログラム打合せ資料	22
VII 非常時の避難について	23



施設の概要

1 設置の趣旨（目的）

とちぎ海浜自然の家は、ふだん海に接することの少ない栃木県の子どもたちに、海辺に宿泊しながら海の自然や海にかかわる産業・文化などに触れさせることを主要目的とした「海の分教場」として、また、その機能を活用して、県民一般に多様な学習の場を提供する「生涯学習施設」として設置された教育施設です。

2 主な施設

施 設 名		施 設 の 概 要 （ 特 徴 ）
生 活 館	宿 泊 室	洋室47室、和室 4 室、計300人宿泊可 （どの部屋からも太平洋を一望できる）
	大 食 堂	280人（2階吹き抜けガラス張り）、小食堂 1 室
	浴 室	大浴室（30人程度） 2 室、小浴室 1 室
	オリエンテーションホール	100人程度
	メ イ ン 広 場	2,800㎡（太平洋を一望できる）
	保 健 室	1 室
学 習 館	大 学 習 室	200人程度、VTR、DVD、電子ピアノ、プロジェクター
	オープンスペース	150人程度、VTR、CD等
	第 1 ～ 4 学習室	20人程度× 4 室、（ TV、DVD、BD）
	制 作 実 験 室	48人程度、作業台 9 台、長机 6 台
	調 理 実 習 室	32人程度、調理台 8 台
	海 の 展 示 館	100人程度
	海 の 図 書 館	80人程度
	視 聴 覚 室	120人程度、VTR、ピアノ、プロジェクター、DVD
	会 議 室	70人程度、VTR、エレクトーン
ス ポ ー ツ 館	体育館アリーナ	200人程度、990㎡、バレーボールコート 2 面又はバドミントンコート 4 面、バスケットボールハーフコート 2 面（ゴール 4）
	体育館プレイルーム	190㎡、卓球台 4 台
	室内温水プール	880㎡（25mプール 1、小プール 1、冬でも利用できる）
野 外 活 動 施 設	ロ ッ ジ	10棟 （海に続く黒松林の近くに10人程度が泊まれるログハウス、冷暖房・トイレ完備）
	野 外 調 理 場	2 か所 東15かまど、西12かまど 270人活動可
	イ ベ ン ト 広 場	塩づくり用かまど20 つぼ焼きいも用つぼ 6
	水 の 広 場	415㎡、いかだ用具 4 艘分、カヌー 4 艘
	ス ポ ー ツ 広 場	300mトラック、少年用サッカーゴール 2
	多 目 的 広 場	約2,000㎡、ニュースポーツ等
	多 目 的 コ ー ト	約1,600㎡、各種レクリエーション、パターゴルフ場（9ホール）
	自 然 体 験 林	5.2ha
	大アスレチック広場	約7,500㎡、帆船型アスレチック遊具
	ライン型アスレチック	トレーニング用具14種
	自転車モトクロス広場	3 コース モトクロス用自転車50台
	テ ニ ス コ ー ト	2 面（ハードコート）

3 利用にあたって

(1) 利用できる団体

研修を利用とした団体・家族であれば、どなたでも利用できます。

○学校等

幼稚園、保育園、小中学校、高等学校、大学、専門学校等

○社会教育団体、家族、グループ等

子ども会育成会、スポーツ少年団、福祉団体
同好会、サークル、家族等

○公共機関、企業等

職員研修、社員研修等

(2) 利用できない団体

○保養、慰安、観光を目的とする団体・グループ
○高校生以下の生徒、児童のみの団体・グループ
○公の秩序を乱し、または善良な風俗を害するおそれがある団体・グループ

○営利を目的とした活動、政治的活動、宗教的活動を内容とする団体・グループ

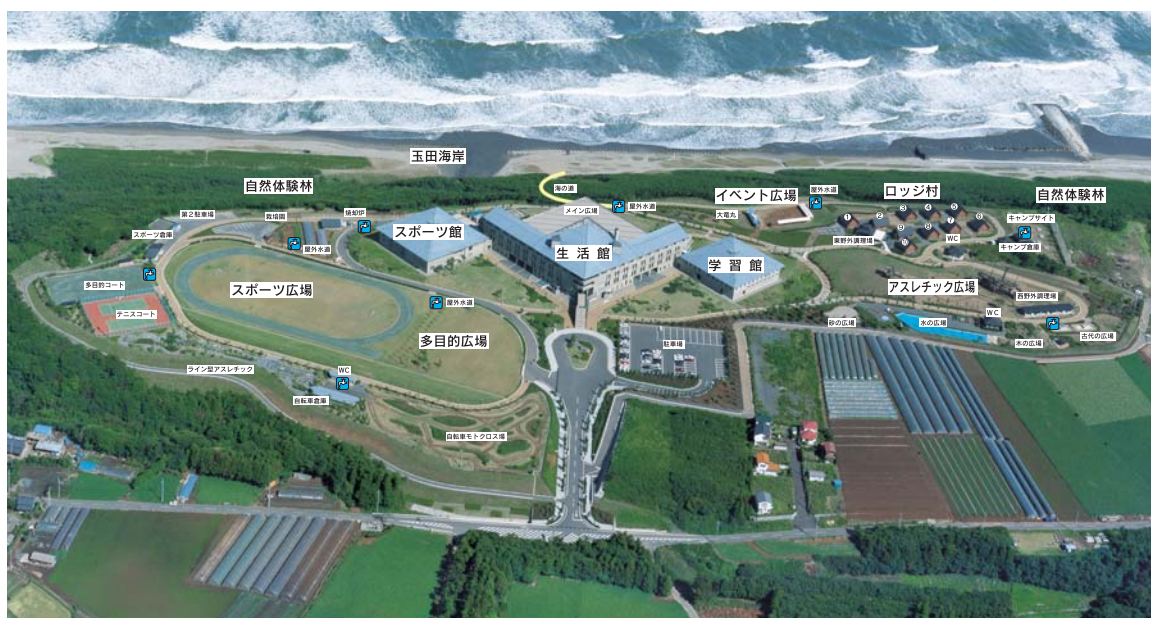
○海浜自然の家の管理、運営上支障があると判断される団体・グループ

(3) 利用のしかた

○事前に当所に電話または直接来所のうえ、利用期日等をご相談ください。

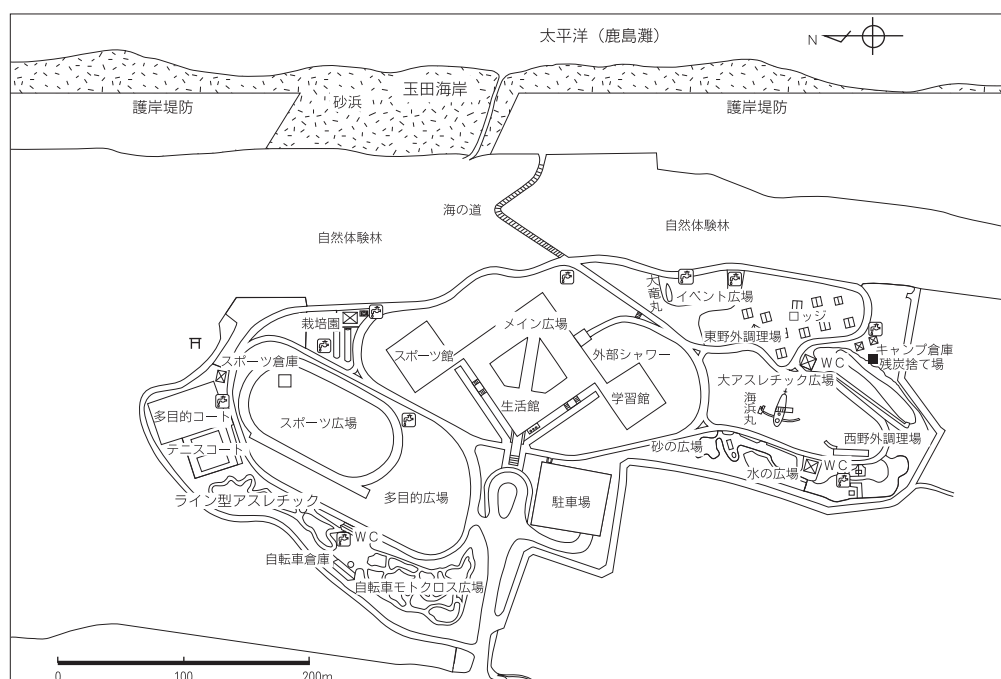
○施設が開催する「主催事業」には家族やグループで参加できます。

4 施設全景

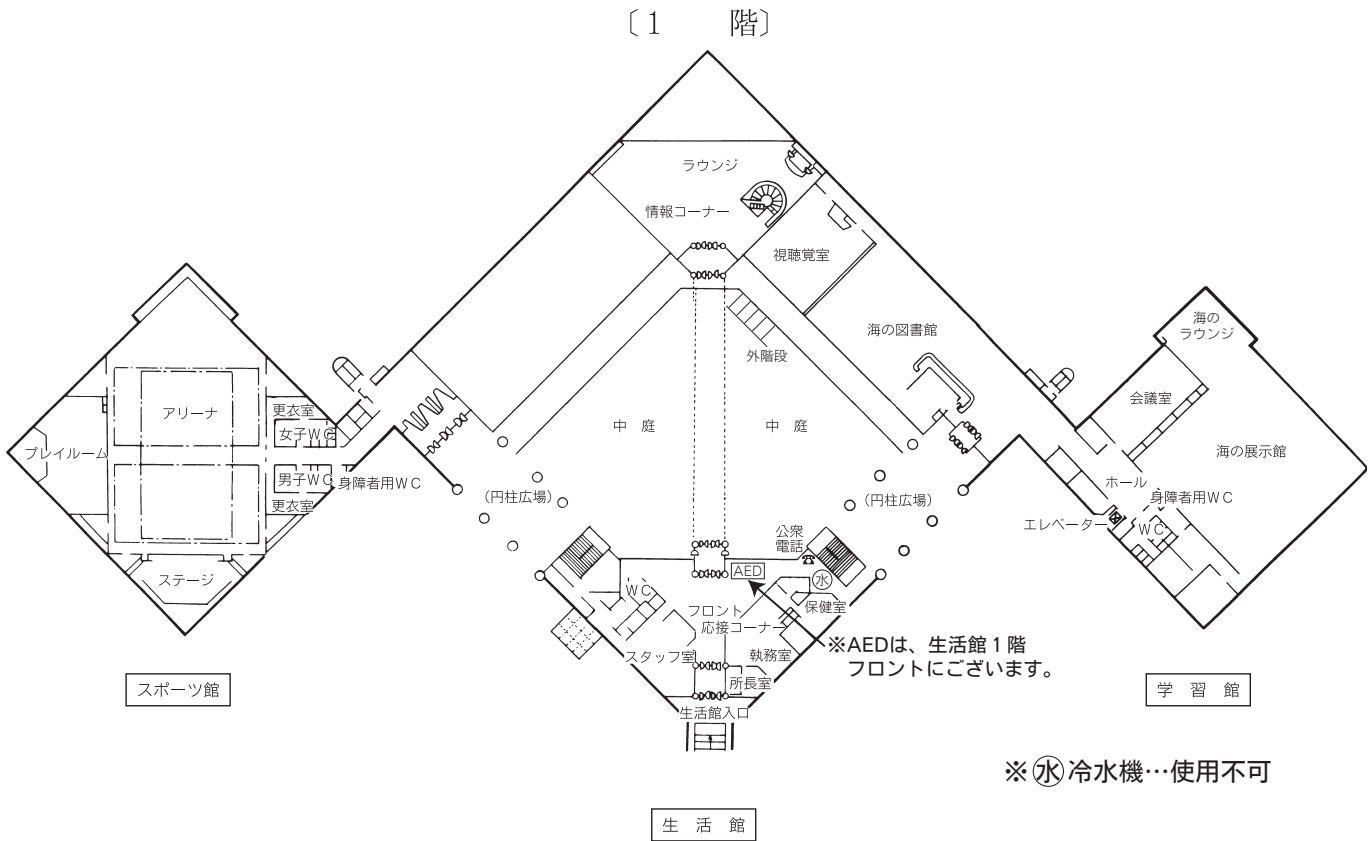
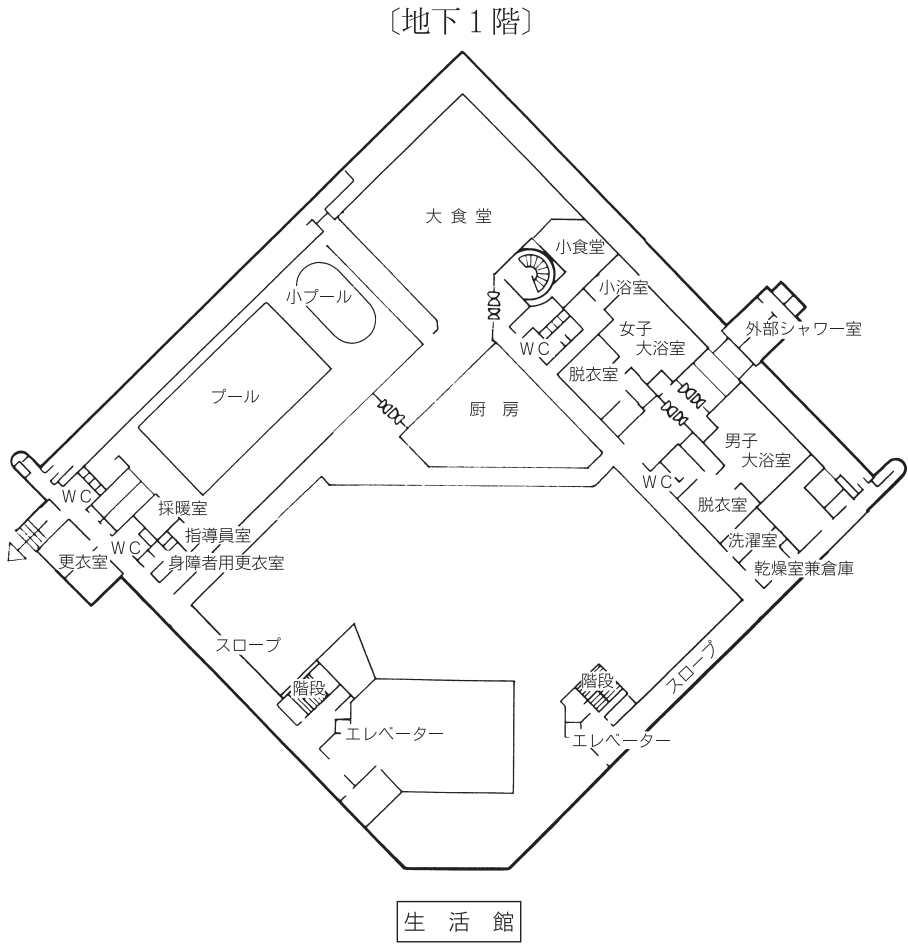


5 施設配置図

(1) 全体配置図



(2) 生活館配置図

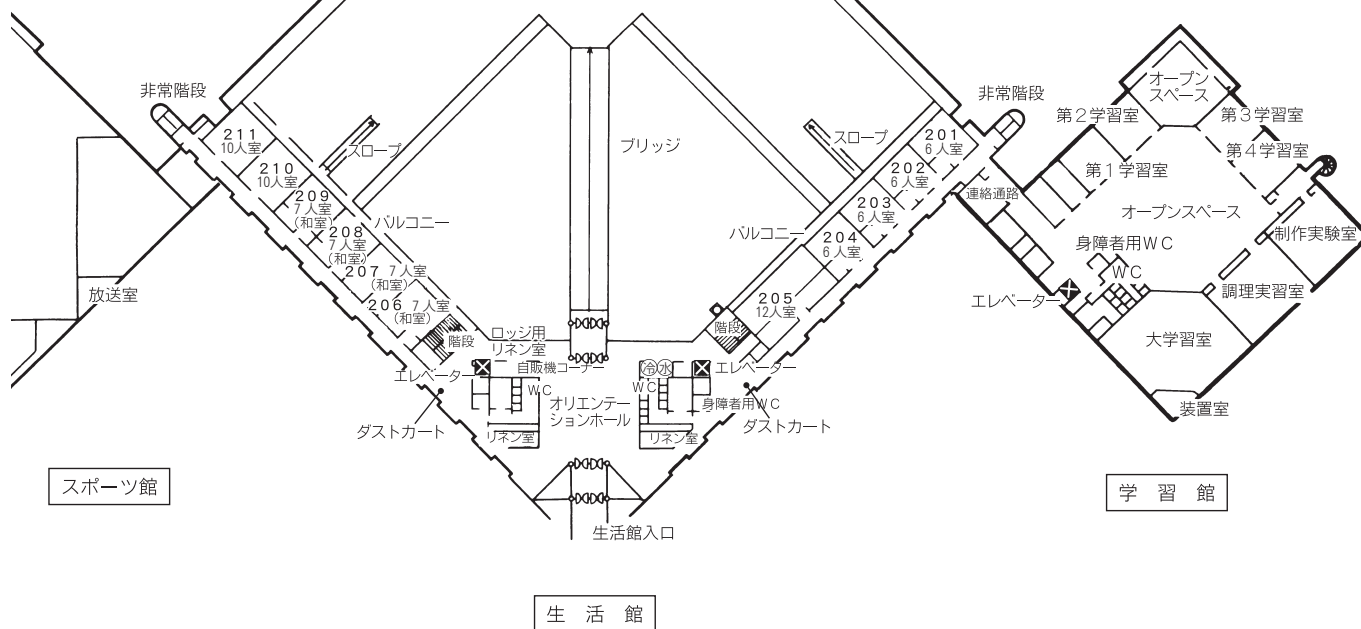


〔2 階〕

内線電話

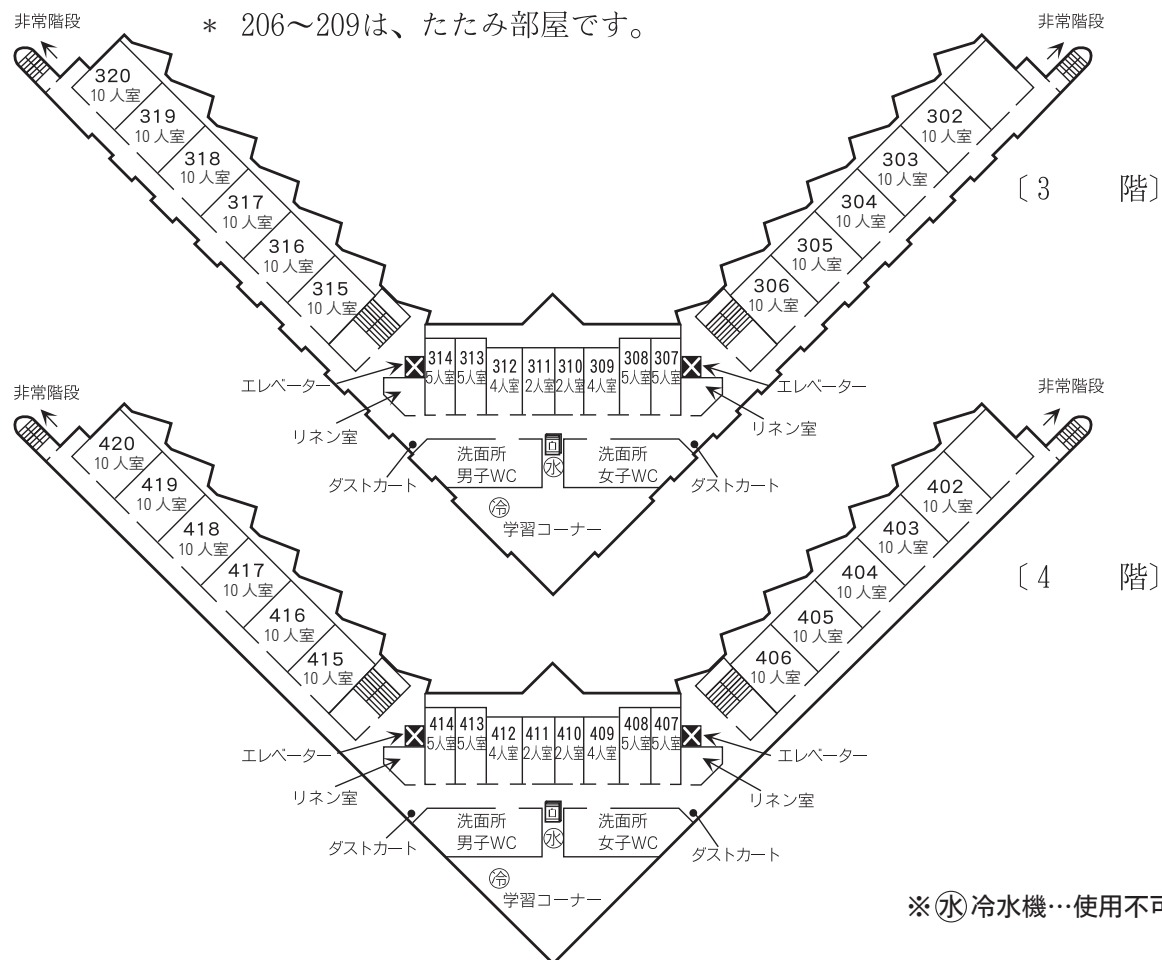
場 所	番 号	備 考
執 務 室(管理課)	153	貴重品・精算・故障破損等の問い合わせ
スタッフ室(指導課)	162	活動計画・傷病等の問い合わせ
宿 直 室	163・140	夜間(22:00～翌朝 6:00)の問い合わせ

㊟: 冷蔵庫 (冷却用枕・経口補水液があります)



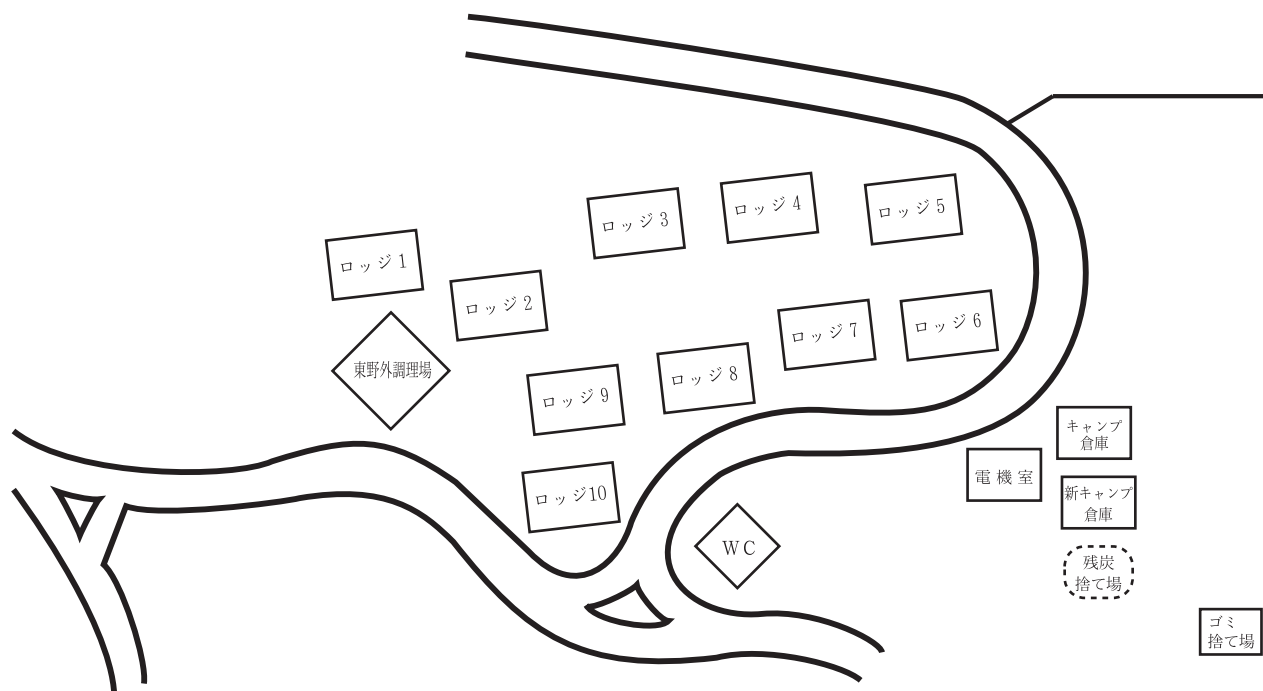
* 201～205は、車椅子にも対応しております。

* 206～209は、たたみ部屋です。



※㊟冷水機…使用不可

(3) ロッジ配置図



* ロッジ2・ロッジ9は、車椅子にも対応しております。1階はたたみ部屋、2階はベッド（3床）となっています。

ロッジ概要

棟	和・洋	定員 ※	1 階	2 階	
			ベッド・毛布	ベッド	補助ベッド
1	洋	8	2段×2	2段×2	1
2	和	12	毛布9組	3	0
3	洋	8	2段×2	2段×2	1
4	洋	8	2段×2	2段×2	1
5	洋	10	2段×4	2段×1	2
6	洋	8	2段×2	2段×2	1
7	洋	10	2段×4	2段×1	2
8	洋	8	2段×2	2段×2	1
9	和	12	毛布9組	3	0
10	洋	8	2段×2	2段×2	1

* 2段ベットは、たすき掛けのように上下1名ずつ使用します。

Ⅱ 利用案内

1 臨海自然教室の利用

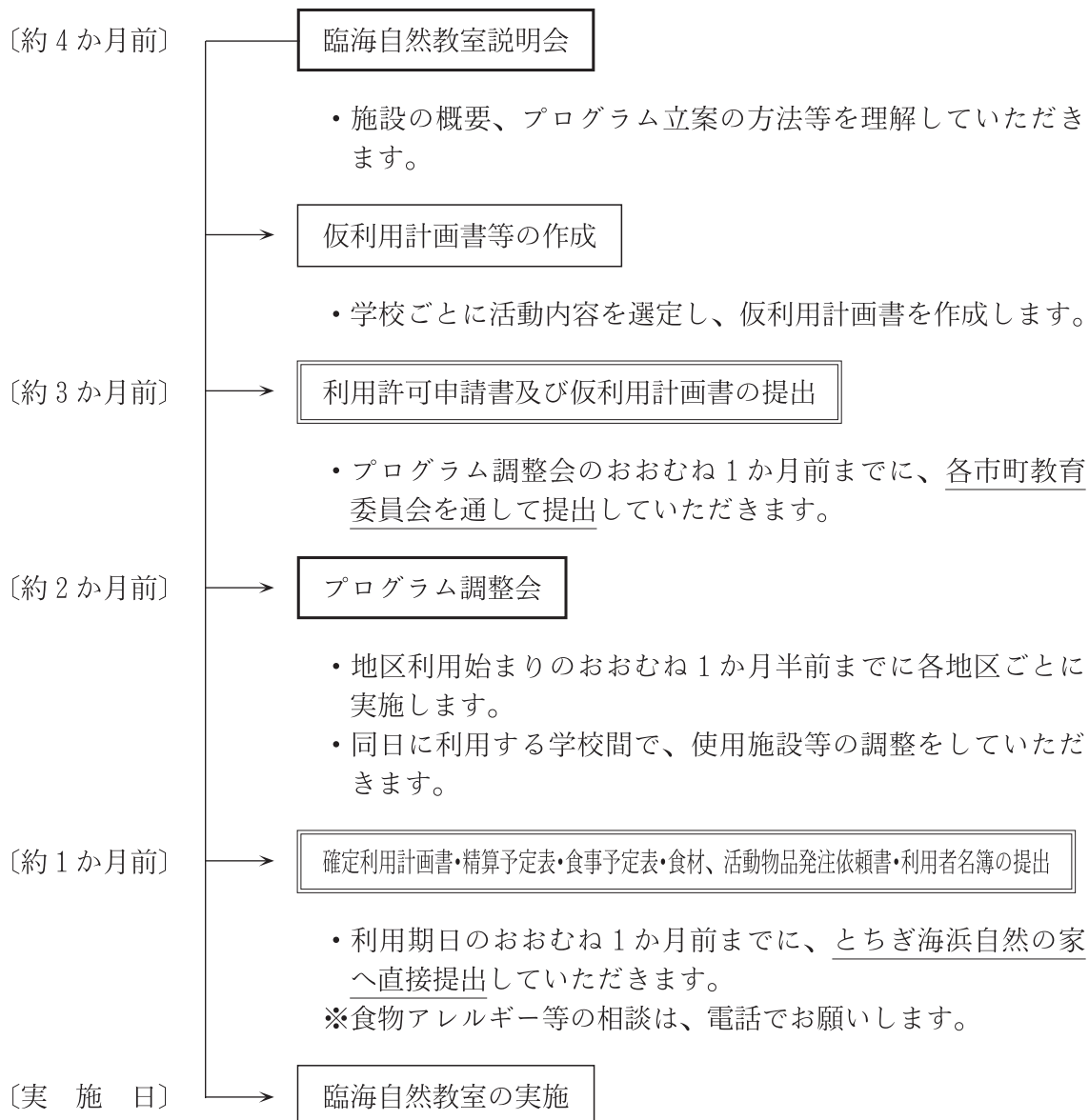
(1) 臨海自然教室の概要

栃木県の小学5年生を対象に海辺での集団宿泊活動や自然体験活動、漁業や海運等に関する教育資源を活用した体験的学習等の機会を提供することを趣旨として実施するものです。

(2) 実施時期

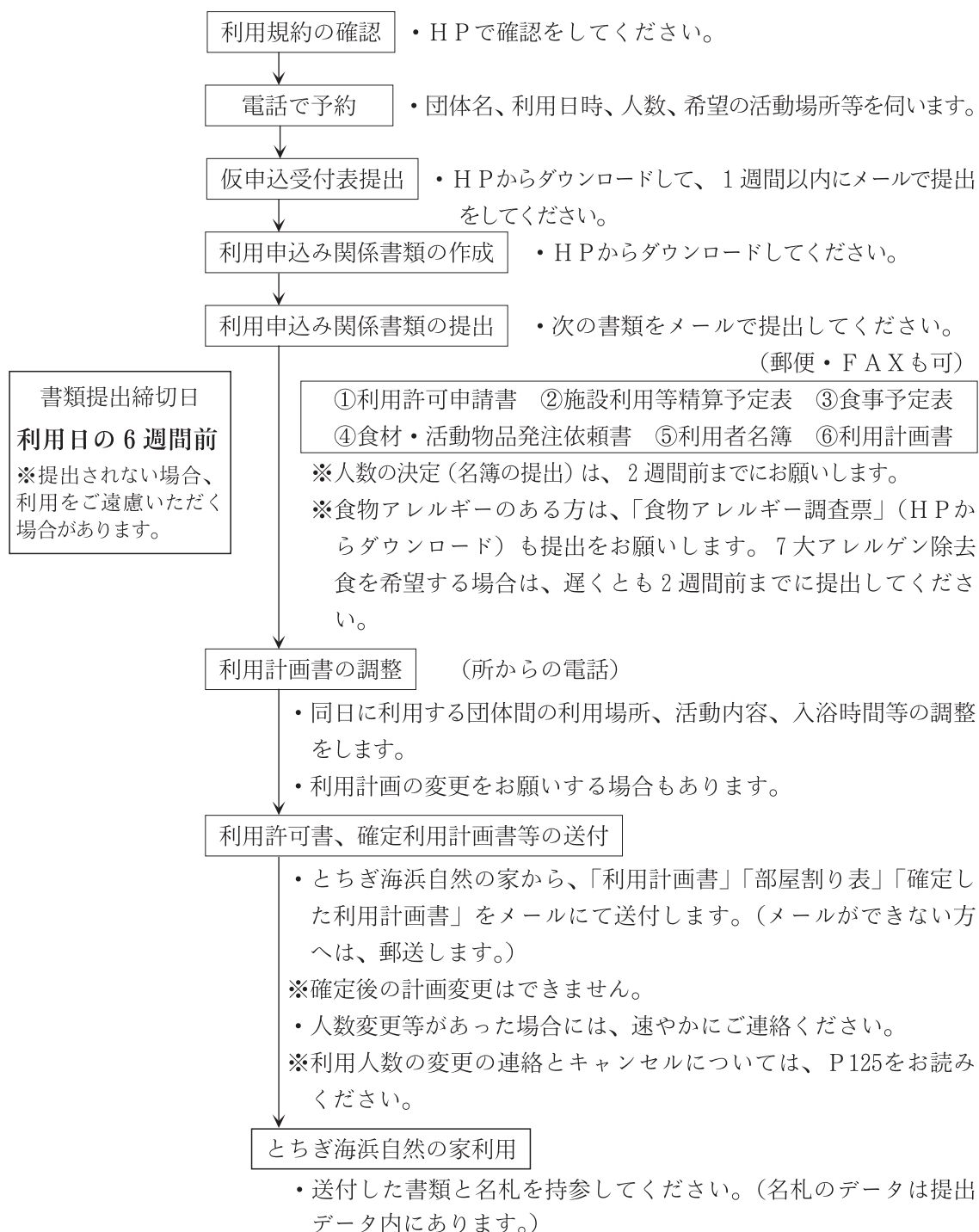
臨海自然教室の実施時期は、原則として長期休業中及び土曜・日曜・祝日、また長期休業中を除く学校の通常の授業日となっていますが、令和5年度はとちぎ海浜自然の家大規模空調等改修工事により、土曜・日曜・祝日も含みます。なお、市町単位に期間を設定して実施することになっています。

(3) 実施までの流れ



2 各種団体、家族等の利用（通常予約）

利用申込みの方法 ※利用日の7週間前までに電話でお申し込みください。



令和6年度の申込みについて

《団体先行予約》

仮利用申込書(HPにアップ予定)に記入し、下記の受付期間中にメールでお申込ください。

(栃木県内の団体) 令和5年8月1日 9:00～ 令和5年10月31日 12:00

(栃木県外の団体) 令和5年9月1日 9:00～ 令和5年10月31日 12:00

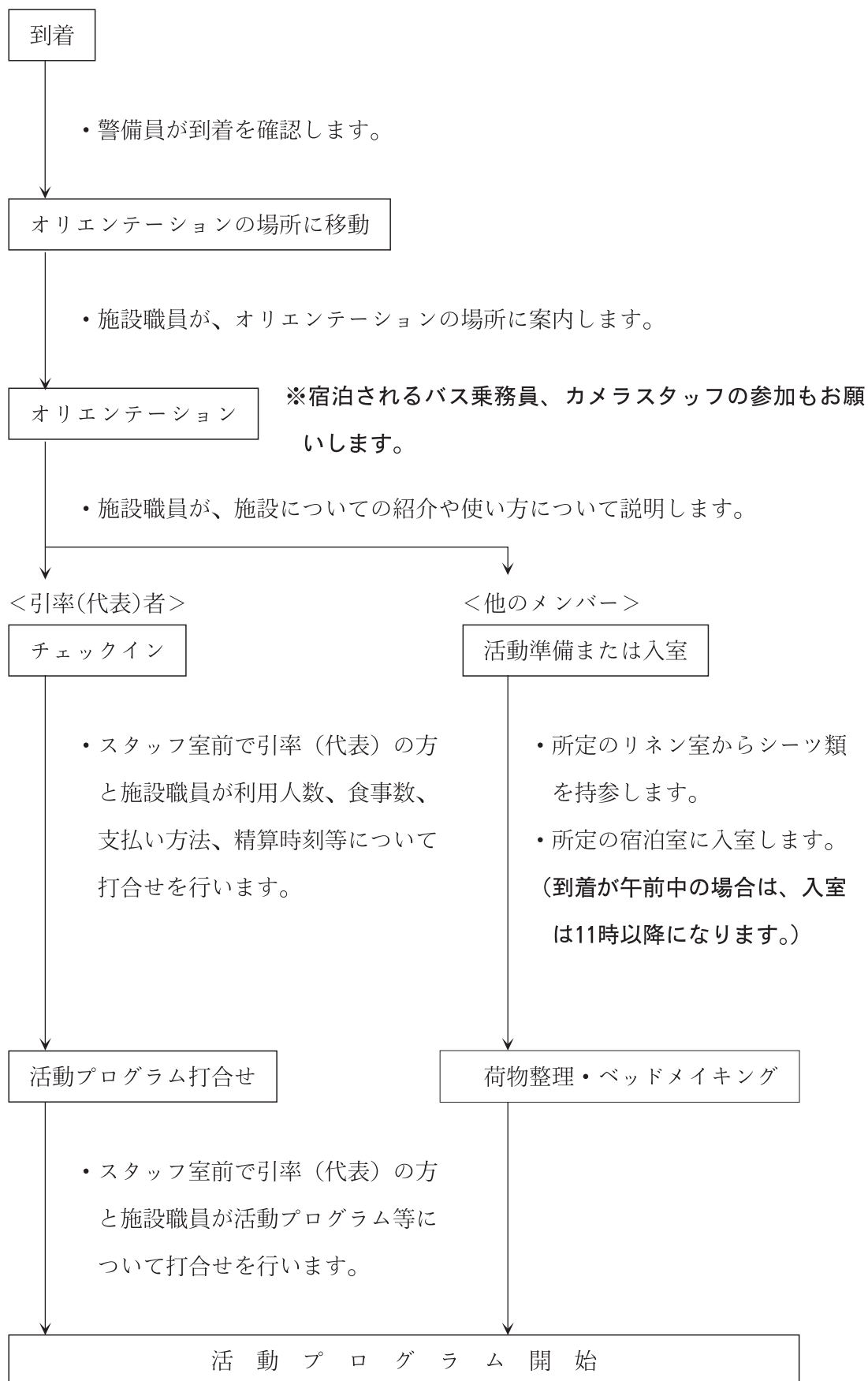
《団体通常予約》

電話でお申し込みください。(栃木県内・外問わず) 令和6年1月10日 9:00～

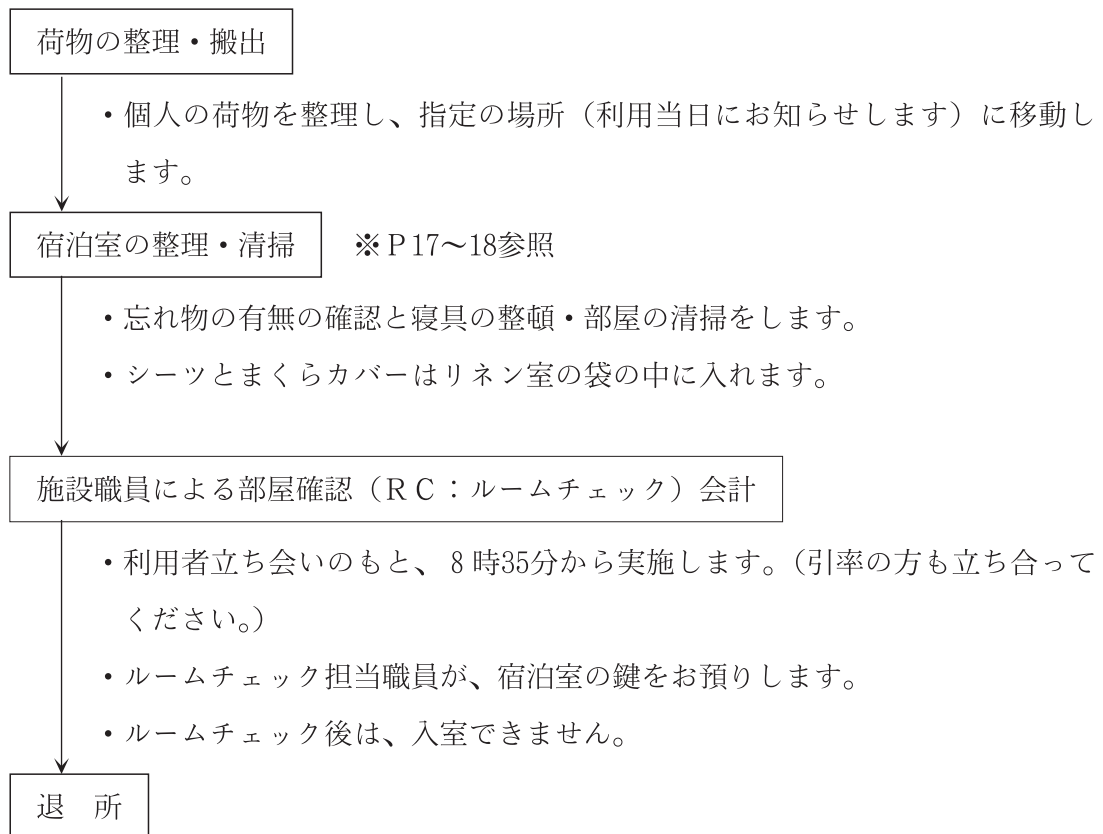
《家族・グループ通常予約》

電話でお申し込みください。(栃木県内・外問わず) 令和6年2月10日 9:00～

3 入所時の手続き



4 退所時の手続き



・引率（代表）の方は、退所時にスタッフ室に声かけをお願いします。

5 利用人数等の変更

利用予定人数等の変更が生じた場合には、早めに電話で連絡してください。なお、食事数活動物品数の変更は、P125「利用数の変更の連絡とキャンセルについて」をご覧ください。

6 食材・活動物品の準備

(1) とちぎ海浜自然の家に購入発注を依頼するもの

食材は、保健衛生上の理由から、施設を通して購入していただくことを原則としています。

購入するものがある場合は、所定の発注依頼書を提出してください。

(2) 団体が用意するもの

団体の持参品については希望する活動のページをご覧ください。

（海浜自然の家を通して購入可能な物品は、P126～参照）

7 会計について

(1) 会計の流れ

①「チェックイン」→ ②「利用」→ ③「精算」となります。

	時 間	場 所	内 容
① チェックイン	オリエンテーション後	生活館1F スタッフ室前	(1)利用人数等の確認 ※利用者数(男女別)、食事数、リネン数、食材・活動物品の数量等について確認します。 (2)経費の精算方法の確認(現金・振込等)
② 利用	「利用計画書」に基づき利用してください。		
③ 精算	※ チェックイン時 にお知らせした 時間	生活館1F 精算 コーナー	(1)施設利用料、食事料、リネン料、食材・活動物品代等について利用数の最終確認 (2)お支払い (3)領収書・請求書の発行

(2) 精算方法等について

ア 支払区分について

精算を円滑に行うため、精算方法等については予め確認しておいてください。

経 費 区 分	精 算 方 法	支 払 先
施設利用料 (プール利用料含む)	現金	とちぎ海浜自然の家
光 熱 水 費	現金	
リ ネ ン 料	現金	
活 動 物 品 代 金	② 現金又は口座振込	コンパスグループ・ジャパン(株)
食事料および食材代金	③ 現金又は口座振込	

なお、各料金別の支払区分は、以下のとおりです。

※各種団体で合計額が10万円を超える場合は、振込での支払いが可能です。希望される方はご相談ください。なお、振込手数料はお客様負担となります。

※領収書または請求書は、①～③ごとに発行します。

※口座振込の場合、①・②の振込口座は同一のため合算でのお振り込みも可能です。

※口座振替の場合、領収書の発行はしていません。金融機関への振込依頼書をもって領収書に代えさせていただきます。

※精算手続き終了後の変更・返金は、一切できませんので予めご了承ください。

イ 請求先が異なる場合

(ア) 臨海自然教室の場合

臨海自然教室で市町等から経費の補助を受けるにあたり、その内容に応じて市町等から領収書の分割を指示される場合があります。チェックインの際に確認いたしますので、対象となる経費について、予め学校・市町教育委員会等で確認しておいてください。

(イ) 各種団体、家族等の場合

精算方法、請求書宛先等が異なる場合は、施設利用料等精算予定表にご記入ください。



生活について

1 生活上のお願い

- (1) 感染症、食中毒予防のために、「手洗い」「うがい」「アルコール消毒」を励行してください。
- (2) 非常口や避難経路は、部屋に入ったら必ず確認してください。
- (3) 建物の中はガラスを使った部分がたくさんあります。ぶつかってけがをしないように気をつけてください。
- (4) 宿泊室のドアは外開きになっているところがあります。廊下を走って、急に開いたドアにぶつからないようにしてください。
- (5) 危険なので、ベランダには出ないようにしてください。また、メイン広場、ラウンジ、階段などの手すりに乗ったり、身を乗り出したりすることはとても危険ですからやめてください。
- (6) ベッドの上での飲食はやめてください。
床はじゅうたんで汚れがおちないので、あめやガム等は食べないようにしてください。
- (7) 浴室内では走ったり、ふざけたりしないでください。
- (8) 下痢・発熱などの症状があるときは、入浴、プールの利用等を差し控えるようにしてください。
- (9) 次の場所は、引率の方が同行してください。
海岸 スポーツ館 自然体験林 大アスレチック広場
ライン型アスレチック 海の図書館 海の展示館 施設の敷地外
- (10) 野外では、遊具等で危険な遊びをしたり、勝手に海へ行ったりしないようにしてください。
(※海岸に行く時は、必ずスタッフ室にお寄りください。緊急連絡カードを持参していただきます。)
- (11) 他の団体の迷惑にならないように21：00～翌朝6：00までは宿泊室にてお過ごしください。

2 食堂の利用について

【利用前】

- (1) 食堂はセルフ方式での食事の提供になります。
- (2) 食堂入口の密を避けるため、人数確認等は活動場所で済ませてから食堂への移動をお願いします。
- (3) 必ず手洗いをしてください。手洗い後、水分をしっかり拭き取り、手指消毒をしてください。
- (4) マスクとビニル手袋（両手）を着用してください。

※ビニル手袋は、食堂入り口に置いてあります。（サイズはS・M・Lの3種類）

※マスクがない方は、食堂を利用することができません。

【食事の準備】

- (1) 食堂入口に入ったら、手袋を装着したまま手指消毒をしてください。
- (2) トレー（お盆）を一人1枚持ち、食器、はしをのせます。
- (3) トレーをトレースライドにのせ、横にスライドさせながら進みます。
- (4) 皿を手に取り、食べきれの量のおかずを取り分けます。

※おかずのトンゴは、料理ごとに使い分けてください。

- (5) カウンターから、ご飯、汁物などを取り、テーブルに着きます。
- (6) 牛乳、冷水などの容器、台ふきを、テーブルに各一つ持っていきます。

※取り分け時や冷蔵庫、ドリンクサーバーを使用する際は、必ずマスクと手袋を着用してください。

※ごはんや汁物、おかずをおかわりする際は、必ずマスクを手袋を着用のうえ、取り分ける前に手袋を装着したまま手指消毒してください。

【食事の片付け】

- (1) 牛乳、冷水などの容器を返却場所に戻します。
- ※いったん取り分けた食べ物や飲み物は、容器に戻さないでください。
- ※牛乳・冷水が残っていても、容器は冷蔵庫に戻さないでください。
- ※返却場所は、表示してあります。
- (2) テーブルを台ふきできれいに拭きます。
- (3) テーブル、椅子などを整えます。
- (4) 紙ごみ、手袋などは、「ゴミ置き場」に入れます。
- (5) ご飯類や汁物、ジュースの残飯は「生ゴミコーナー」に捨てます。
- (6) コップ・はし・スプーンは専用の返却カゴに入れます。
- (7) トレーごとベルトコンベアにのせ、出口から食堂を出ます。

※ トレー・茶碗・お椀は重ねないでください。

【アレルギー対応】

(1) アレルギー対応は、次の4つになります。

①通常メニューで本人が取り除く。

②食物アレルギー献立を希望する。(トレー提供)

③食事を持参するが、ご飯・汁物は提供を希望する。(食堂食器利用・使い捨て食器持参)

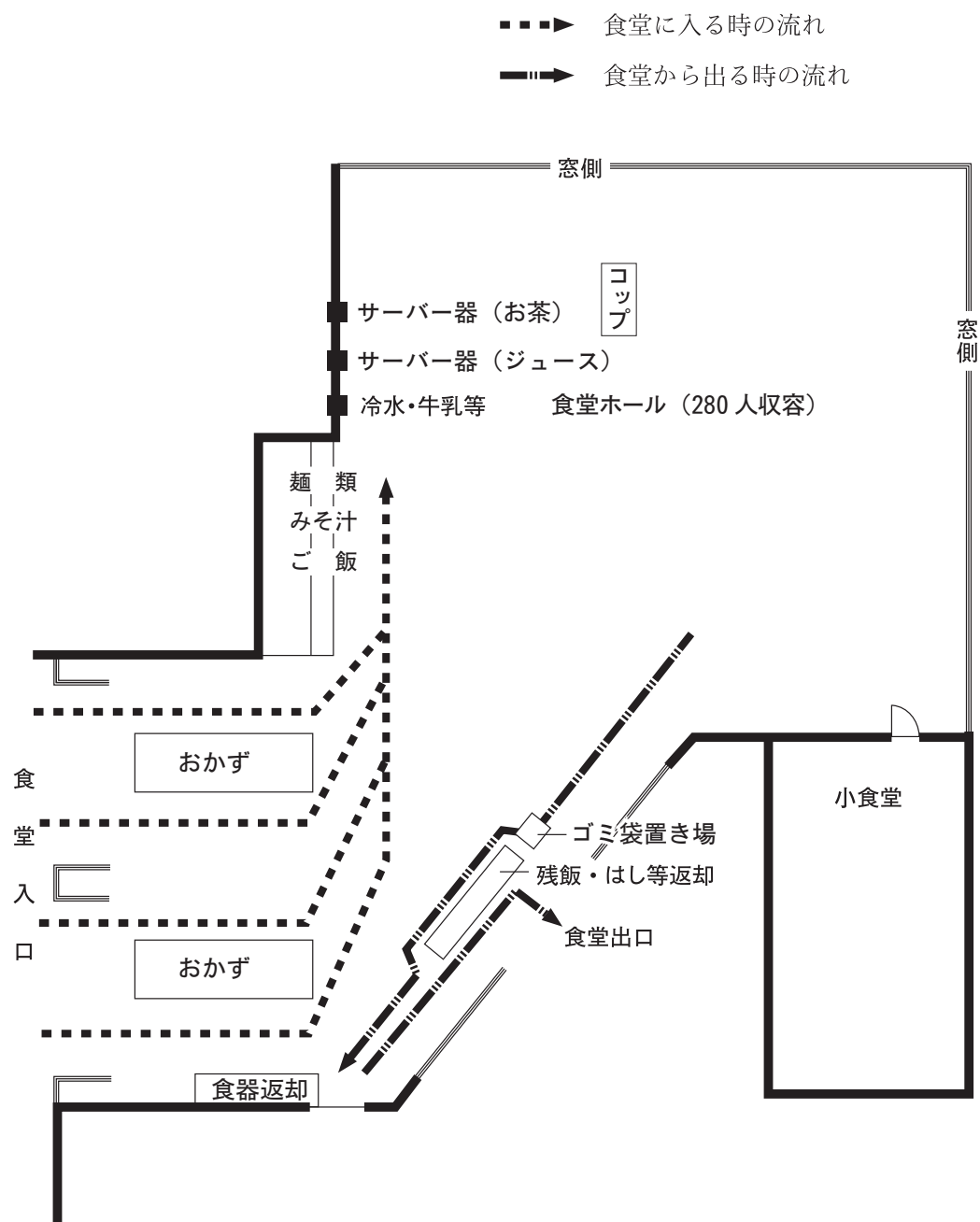
④すべての食事を持参する。(食堂食器利用・使い捨て食器持参)

※④の対応時のみ食事料金は、いただきません。

※食物アレルギー対応メニューについては、ホームページにてご確認ください。

(2) 食事を持参する場合は、1食ごとにまとめて持参してください。

食堂の全体図〈新型コロナウイルス感染症対策版〉



※ 衛生上、入口と出口は別になっています。(一方通行になっています。)

3 入浴について

- (1) 洗いでふざけたり、走ったりするのはやめましょう。すべることがあります。
- (2) 入浴後は、洗いおけやこしかけなどを整理しましょう。
- (3) ボディシャンプー、リンスインシャンプーは浴室においてあります。
- (4) ドライヤーは脱衣室に設置してあります。(男女 4 台ずつ)
- (5) 脱衣室に忘れ物をしないようにしましょう。

新型コロナウイルス感染症拡大防止に関するお願い

新型コロナウイルス感染症対策として、次のようにご対応いただきますようお願いいたします。

- ・脱衣室入室前に手指消毒をしてください。脱衣室については、ひとつ間を空け、人と人の距離をとって使用してください。
- ・入浴については、3 密を防ぐために 1 回の利用を原則 30 人としています。
(対応については、各団体でお願いいたします。)
- ・浴室の利用時間については、密を防ぐために調整をさせていただきます。

4 ベッドメイキングについて

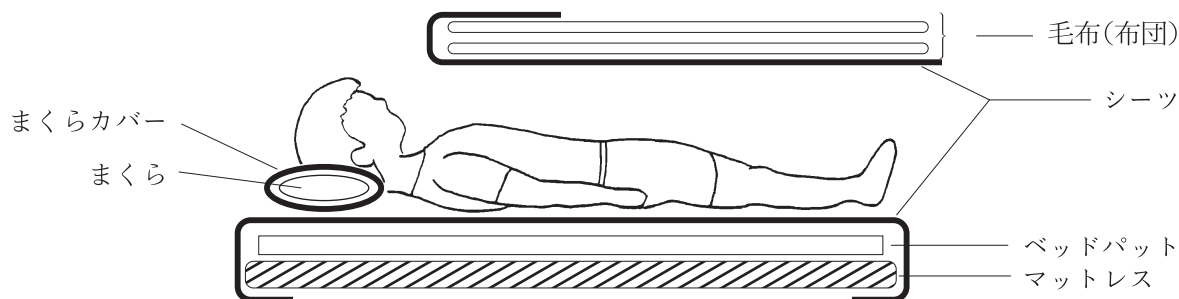
(1) シーツ・まくらカバーの受け取り

- ・各室の代表者がリネン室の中段の部屋番号の書いてあるところからとってください。(シーツ 2 枚とまくらカバー 1 枚が一人分として組んであります。)

※ロッジ用のシーツ・まくらカバーは、生活館 2 階の第 3 リネン室（自動販売機隣）にあります。

(2) ベッドメイキングの仕方

図のようにシーツとシーツの間に寝ます。



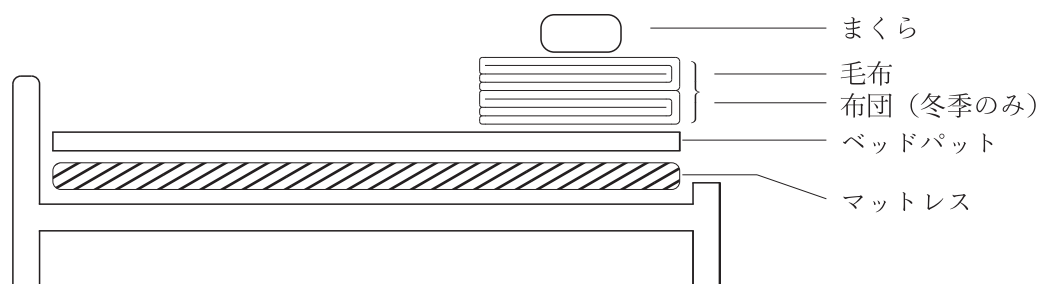
(3) 退所の朝の整とん

シーツ・まくらカバーは、簡単にたたんだ後、枚数を確認してまとめてリネン室の袋の中に入れてください。

なお、寝具などをよごしたり、やぶいたりした場合は、スタッフ室に連絡してください。

・洋室の場合

毛布・まくらなどは、図のようにそろえて重ねておいてください。



・和室の場合

ふとんや毛布はきちんとたたんで、種類別に重ねて表示のとおり片付けてください。

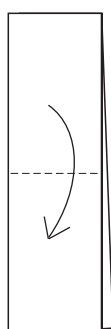
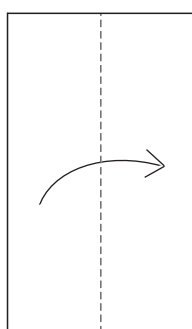
・ふとんや毛布のたたみ方

(ふとんカバーははずしません。)

ア 敷ふとん(和室のみ)二つ折り

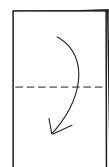
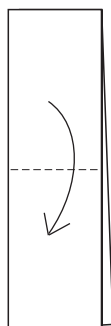
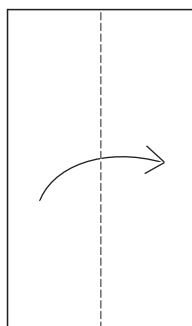
イ かけふとん

四つ折り



ウ 毛 布

八つ折り



5 清掃について

宿泊した部屋や使用した部屋を清掃します。

(1) 宿泊室・ロッジの部屋

- ① 床は、清掃用具でごみをとります。
- ② 燃えるごみについては、ごみ袋ごと廊下のダストカートに捨てます。燃えないごみ（危険物）については、直接ダストカートに捨ててください。〔ロッジについては、各棟内の玄関にまとめておいてください。〕

(2) 学習に使用した部屋

- ① 床は、清掃用具でごみをとります。
- ② ごみ箱・ごみは、ダストカートの中に捨てます。
- ③ 机、テーブル、作業台などの上をきれいにふいてそろえ、いすはきちんと整頓しておきます。

6 ごみの処理について

- (1) 燃えるごみ、燃えないごみ（危険物）、ペットボトルに分けて、所定のごみ箱に捨てます。
- (2) 野外調理などで出たごみは、キャンプ倉庫西（金網の囲い）のごみ置き場に捨てます。
- (3) 野外調理や塩づくりのときに出た残炭は、水で完全に消火してからキャンプ倉庫後ろの残炭捨て場へ捨てます。

7 その他

- (1) 火災報知器、防火とびら、消火器、常備灯（非常灯）、AEDなどは、非常時以外は手をふれないでください。
- (2) けがや病気などにより、具合が悪くなったときや、火災などの事故があった場合は、すぐにスタッフ室に連絡してください。
- (3) 施設・物品などをこわしたり、なくしたりしたときには、スタッフ室に連絡してください。
- (4) 持ち物には、名前、団体名を記入しましょう。



IV 宿泊中の傷病について

※ **新型コロナウイルス感染症拡大防止に関するお願い** を含みます。

1 保健室の利用について

- (1) 傷病者が出た場合には、施設職員に連絡してください。
- (2) 発熱等の風邪症状が出た場合には、原則退所をお願いします。有症状者は、指定した部屋で待機していただきます。
- (3) 保健室には、応急手当に必要な器具や衛生材料が備えてあります。
- (4) 保健室を使用した際は、「保健室利用の記録」に記入してください。
必ず大人が付き添いお越しください。

2 病院での受診について

- (1) 症状が悪化することが予想されるときは、早めの受診をおすすめします。
- (2) 病院での受診については、施設職員にご相談ください。病院の紹介や連絡をいたします。
- (3) 健康保険証（近隣の病院は、健康保険証のコピーでの受診が可）を持参の上、受診してください。

3 食物アレルギーの対応について

- (1) 食物アレルギーをお持ちの方は、利用の2週間前までに食物アレルギー調査票をご提出ください。
- (2) 通常メニューで不都合がある場合は、7大アレルゲン除去メニュー（乳・小麦・卵・そば・落花生・えび・かに）を提供することができます。
- (3) 重篤な症状をお持ちの場合は、食事を持参してください。その際、1食ごとにまとめて持参してください。
- (4) 食事や枕に、そばは使用しておりません。

※詳細についてはホームページをご確認ください。

【参考資料】施設周辺の主な医療機関

医療機関名	診療科	電 話	住 所
鉾田病院 (救 急)	内科・眼科・整形外科 (小児科・外科・耳鼻 咽喉科・泌尿器科)	0291-32-3313	鉾田市安房1650-2 (とちぎ海浜自然の家から車で約20分)
大洗海岸病院 (救 急)	内科・外科・整形外科 (眼科・皮膚科 婦人科・泌尿器科)	029-267-2191	東茨城郡大洗町大貫915 (とちぎ海浜自然の家から車で約20分)
神谷医院	内科・婦人科	0291-37-4611	鉾田市玉田1016-6 (とちぎ海浜自然の家から車で約3分)
樺山診療所	内科・外科	0291-37-0045	鉾田市樺山576-27 (とちぎ海浜自然の家から車で約5分)

※曜日によっては診療していない科もあります。

※上表以外の病院で受診することもあります。

4 嘔吐物の処理について

感染症にかかっているときの嘔吐物には、ウイルス等が大量に含まれています。感染拡大防止のため、以下のことに協力をお願いします。

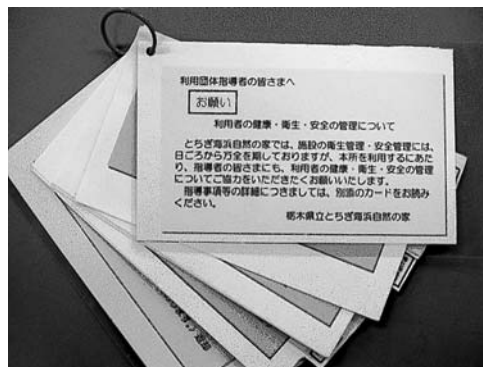
(1) 嘔吐物処理の手順

- ① 職員が伺うので、連絡を入れてください。(内線 162番、夜間 163番または140番) 嘔吐物の処理・消毒は利用団体指導者が行ってください。
- ② 各宿泊室の入口戸棚に『衛生処理セット』が入っています。
- ③ 手袋・マスクを着用してください。
- ④ 新聞紙やペーパータオルなどを使用し、嘔吐物や手袋を全てビニル袋に入れ、しっかりと口を結び、ゴミ箱へ捨ててください。
- ⑤ 手をせっけんでよく洗ってください。

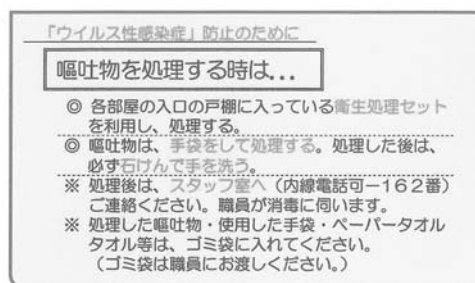
※引率代表者との打合せ時に、『利用団体指導者の皆様へのお願い』をお渡しします。嘔吐物処理の手順をご確認ください。



(衛生処理セット)



(利用団体指導者の皆様へのお願い)



5 その他

- (1) 発熱時等の冷却用に、保冷用枕を必要に応じてお使いいただき、使用後は必ず消毒してからお戻しく下さい。

生活館各階（3・4階学習コーナーと2階OTホール近く）とロッジ（1・2・3・4・6・8・9・10号棟）の冷蔵庫に用意してあります。

また、生活館の冷蔵庫には、経口補水液も常備しております。

- (2) 夜尿用防水シーツの貸し出しをしております。
- (3) 利用に際して健康面で心配なことがある場合は、事前にご相談ください。



施設内での飲食・飲酒について

- 1 団体として懇親会などを行う場合には、時間・場所などを指定させていただきますので、ご予約の際にお申し出ください。

(他団体の活動内容や利用施設等により、ご希望に添えない場合もあります。)

- 2 飲食物の持ち込み・持ち出しおよび決められた場所以外での飲食飲酒は、ご遠慮ください。(入所日の昼食やおやつを持ち込みについては、事前にご相談ください。)

- 3 飲酒できる場所と時間は次のとおりです。(20歳未満の方の飲酒は法律で禁止されています。)

(1) 大 食 堂 17:00～19:30のうち、計画書に位置づけられた夕食の時間

(2) 小 食 堂 17:00～19:30のうち、計画書に位置づけられた夕食の時間

成人団体のみ対象

※小食堂のご利用は予約が必要です。

※現在の酒の提供状況については、お問い合わせください。

- 4 特別食について (成人団体のみ対象)

食堂での通常メニューの他に、鍋料理・さしみ・おつまみ等の特別食を用意することもできます。ご予約の際にお申し出ください。詳細はご相談ください。

※特別食は通常の食事料の他に、別途料金がかかります。

詳細につきましては、食堂にお問い合わせください。

食堂 0 2 9 1 - 3 7 - 4 0 1 5



活動プログラム打合せ資料

「とちぎ海浜自然の家」の利用についてお願い

とちぎ海浜自然の家を有効・安全にご利用いただくために、以下の事項についてご指導をお願いします。

1 プログラムの展開・指導について

- (1) 活動は先に提出された「利用計画」に基づいて実施していただきます。万が一、計画変更の必要性が生じた場合は、スタッフ室の職員と協議してください。
- (2) 活動間の移動は、引率指導者が引率してください。
- (3) 利用者のみで海岸へ行く場合（散歩等）は、必ず、事前にスタッフ室にお寄りください。

2 所内での生活について

- (1) エレベーターはありますが、できるだけ階段を利用してください。
- (2) 通常は非常階段を使用しないでください。
- (3) 宿泊している部屋と使用した場所の清掃をお願いします。
- (4) 消灯時刻（22時）に廊下及び屋外照明を消し、各館出入口を施錠します。消灯時刻以後は、各宿泊室で静かに過ごすよう指導してください。消灯後ロジから生活館に来る必要が生じた場合は、宿直室に内線電話でお知らせください。
- (5) 退所日のルームチェック後、原則として宿泊室を明け渡していただきます。退所団体の荷物は、8時35分までにまとめて、指示された場所に移動してください。
- (6) ルームチェック時には、職員が引率指導者・利用者と一緒に室内の確認をします。

3 安全・保健指導について

- (1) 次の場所は安全確保上、引率指導者管理のもと、利用してください。

海岸	スポーツ館	自然体験林
大アスレチック広場	ライン型アスレチック	
海の図書館	海の展示館	施設の敷地外
- (2) 浴室内は、すべることがありますので、入浴時の指導をお願いします。
- (3) 入室後、非常口および避難経路を必ず確認してください。なお、非常放送があったときには、よく聞いて行動してください。
- (4) 病気やけがの場合は、昼間はスタッフ室、夜間は宿直室に連絡してください。

4 引率指導者の方へのお願い

- (1) 館内は、すべて禁煙になっております。喫煙は指定された場所で行ってください。
- (2) 子どもを引率される方々は、青少年育成者としてふさわしい行動をお願いします。

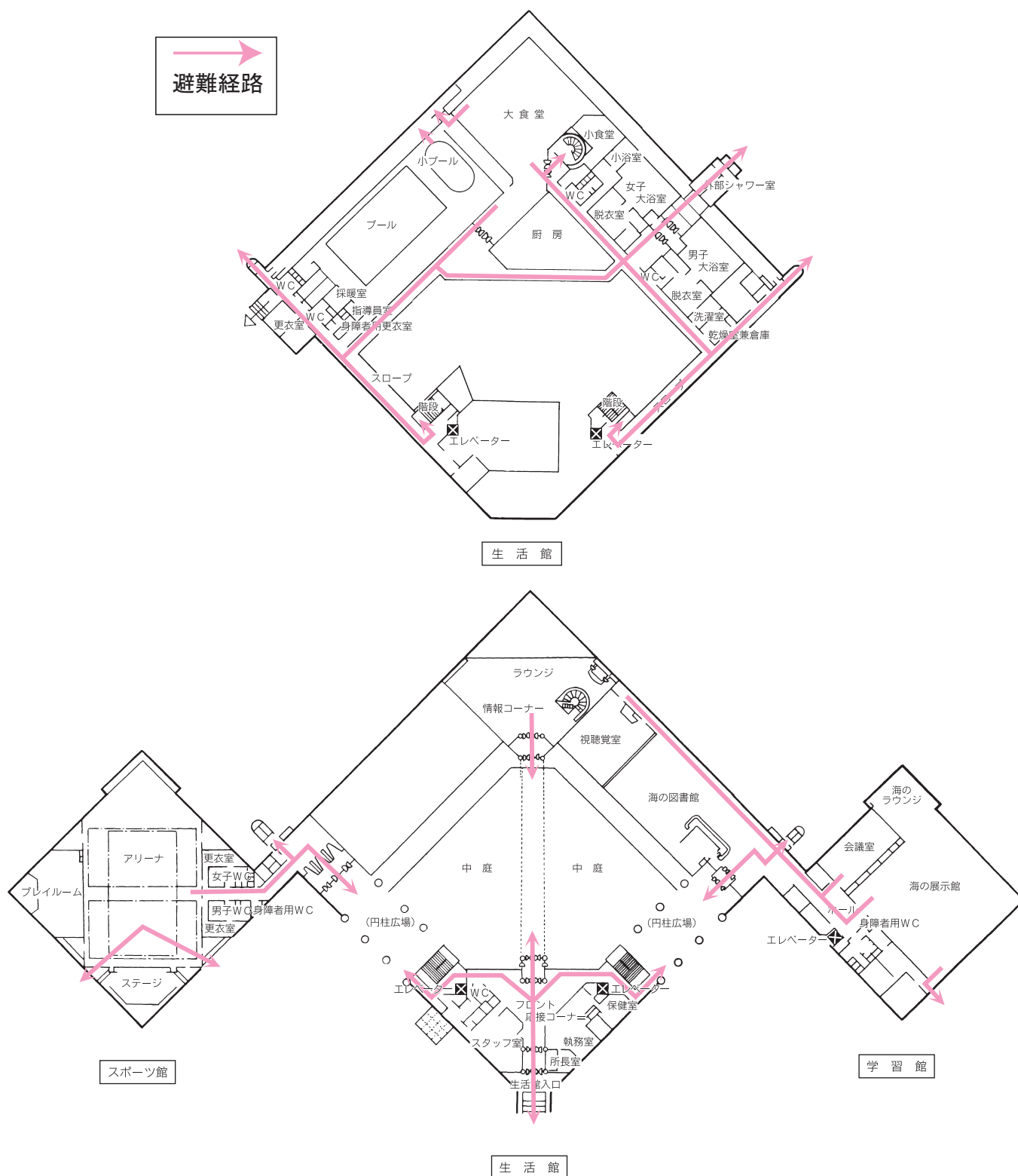
内線番号	☎ スタッフ室 162	☎ 執務室 153
	☎ 宿直室 163・140	



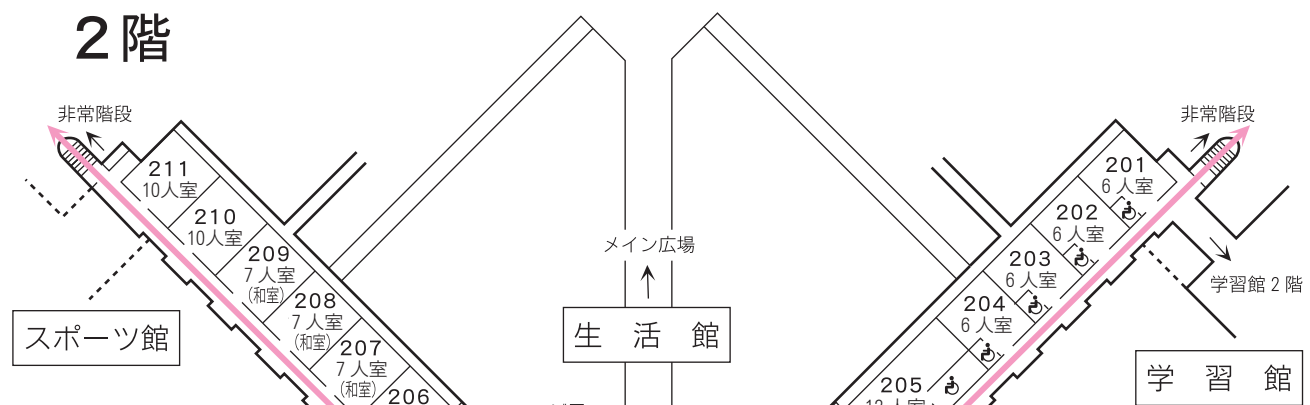
非常時の避難について

非常時（地震・火災等）は、館内放送により避難誘導をします。あわてずに放送を聞き、指示に従ってください。

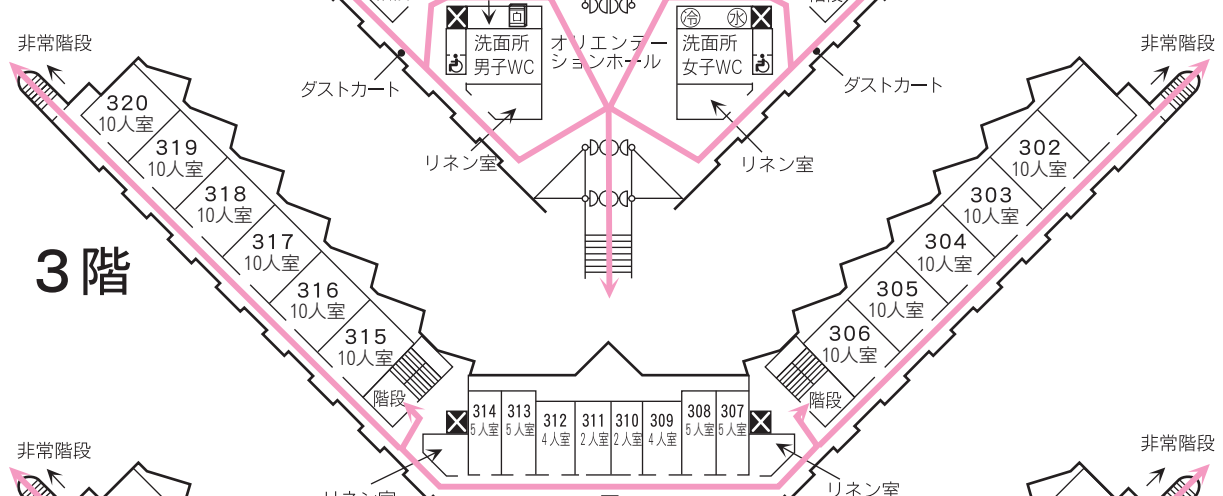
- (1) 引率指導者は館内放送に従い、速やかに避難誘導してください。
- (2) 非常口から屋外に出た後、最終避難場所（多目的広場）に集合してください。



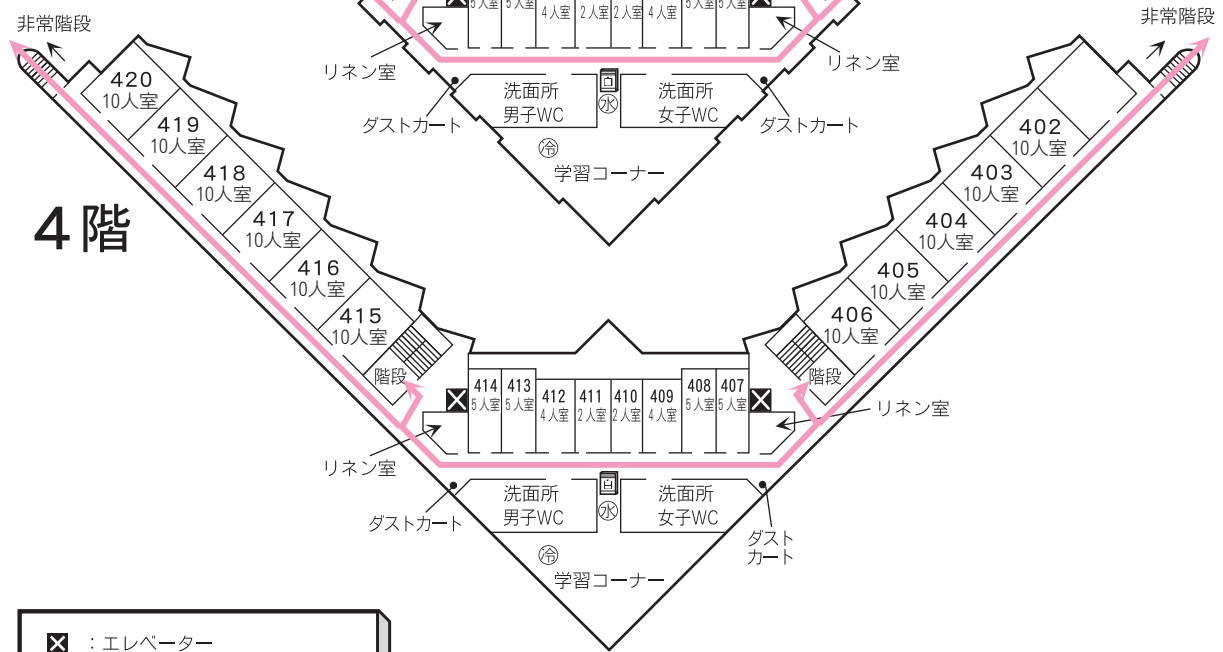
2階



3階



4階



- ☒ : エレベーター
- ❄ : 冷蔵庫 (冷却用枕があります。)
- WC : トイレ
- ♿ : 身障者用トイレ
- ❄ : 冷水器 (使用不可)
- 📺 : 自動販売機

内線電話

場 所	番 号	備 考
執 務 室(管理課)	153	貴重品・精算・故障破損等の問い合わせ
スタッフ室(指導課)	162	活動計画・傷病等の問い合わせ
宿 直 室	163・140	夜間(22:00～翌朝 6:00)の問い合わせ

全体配置図

